

授業科目	* 看護マネジメント総論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21404J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP4-1			
担当教員	隅田 由加里							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】 看護マネジメント(看護管理)とは、看護の目的を効率的、効果的、そして創造的に果たすための機能である。対象者の高齢化や重症化によってケアのニーズは増加しているものの、増大する社会保障費によって、医療機関の経営は圧迫されている。看護職がこのような状況下においても、人々の尊厳、安全、安楽を守り、ケア専門職としての責任を果たしていくためには、看護マネジメントが知識が必須となる。さらに看護職自身の自律を促進し、多様性を踏まえた協働のしくみづくりや、医療安全など、看護マネジメントの基礎知識や考え方を学ぶ。</p> <p>実務家教員として、福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」まで修了し、約15年にわたり大学病院で看護管理者として看護管理を実践してきた経験をもつ。また福岡県看護協会 医療安全管理者養成研修と感染管理者コースも修了し、その知識をもとに医療安全を実践してきた。授業は講義が中心となるが、看護管理や医療安全の理解が深まるよう、具体的な事例を提示しグループワークによって、講義での知識を活用し基本的な策を思考していく。また医療安全に関しては危険予知トレーニング(KYT)を用いて、実際に発生した過去事例から学びを深めていく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>【知識・理解】 1. 看護マネジメントの意義・目的を述べることができる。 2. 看護マネジメントの概要(組織の理解、看護管理のプロセス、チーム医療、人・物・情報の管理、看護提供システム、医療安全)を説明できる。</p> <p>【思考・判断】 1. 看護マネジメントを実践するため、ヒト・モノ・カネ・時間・情報の視点を活用し、論理的に看護の質向上の策を思考・判断できる。</p> <p>【関心・意欲】 1. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた協働のしくみづくりが必須であることを理解し、まずは様々な課題をグループで協力し解決していく意欲をもっている。</p> <p>【態度】 1. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解した行動をとることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	15	10	5	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	70						70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15		5		20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				5			5	
態度 (DP4-1)				5			5	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								

技能・表現 (DP5-3)				
具体的な達成の目安				
理想的レベル		標準的なレベル		
1. 看護マネジメントの意義・目的を根拠をもとに記述できる。 2. 看護マネジメントの概要(組織の理解、看護管理のプロセス、チーム医療、人・物・情報の管理、看護提供システム、医療安全)を具体例を用いて記述できる。 3. 看護マネジメントを実践するため、ヒト・モノ・カネ・時間・情報の視点を活用し、具体例を用いて論理的に看護の質向上の策とその根拠を記述できる。 4. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた協働のしくみづくりが必須であることを理解し、リーダーシップを図り、グループの課題解決のため取り組む		1. 看護マネジメントの意義・目的を述べるができる。 2. 看護マネジメントの概要(組織の理解、看護管理のプロセス、チーム医療、人・物・情報の管理、看護提供システム、医療安全)を述べるができる。 3. 看護マネジメントを実践するため、ヒト・モノ・カネ・時間・情報の視点から、看護の質向上の策を考えることができる。 4. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた協働のしくみづくりが必須であることを理解し、メンバーシップを図り、グループの課題解決のため取り組むことができる。 5. 看護管理の要素で		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	看護マネジメント総論のガイダンス 講義:看護管理の歴史と概要／組織の理解 (講義:隅田由加里) ・わが国における看護管理の始まり ・看護管理(マネジメント)の定義 ・組織とは何か ・看護制度、看護提供システム ・看護の専門性と多職種連携	・シラバスとテキストを用いて科目についてのオリエンテーションを実施する。 ・講義:テキストとスライドによる説明を行う。	【復習】 1. 看護マネジメント総論で学ぶ知識と技術への理解を深め、学習内容の積み重ねと効果的な活用につなげるため、今後に役立つ「ポートフォリオノート」を作成する。 2. 課題プリントに取り組む。 3. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 4. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
2	講義:看護サービス管理 (講義:隅田由加里) ・看護サービスとは何か ・組織における看護師の職務 ・人のマネジメント ・モノのマネジメント ・情報のマネジメント ・カネのマネジメント ・時間のマネジメント	・講義:テキストとスライドによる説明を行う。	【予習】 1. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】 1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
3	講義:医療安全① (講義:隅田由加里) ・医療安全管理体制の整備 ・医療安全文化の熟成 ・医療事故・インシデントレポートの分析と活用 ・多重課題の特徴と対応	・講義:テキストとスライドによる説明を行う。	【予習】 1. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】 1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
4	講義:医療安全② (講義:隅田由加里) ・医療安全管理体制の整備 ・医療安全文化の熟成 ・医療事故・インシデントレポートの分析と活用	・講義:テキストとスライドによる説明を行う。 ・事前課題の事例を用いて危険予知	【予習】 1. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】	【予習・復習】60分

	・多重課題の特徴と対応	トレーニングを実施する。	1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	
5	講義：医療・看護の質保障 (講義：隅田由加里) ・看護業務管理 ・診療報酬制度 ・重症度、医療・看護必要度 ・医療と看護の質と指標 ・病床機能報告 ・病院機能評価	・講義：テキストとスライドによる説明を行う。	【予習】 1. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】 1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
6	講義：人材育成と活用 (講義：隅田由加里) ・継続教育、キャリア開発 ・認定・専門看護師の資格と活動 ・特定行為に係る看護師の研修制度 ・看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度 ・看護師等の労働安全衛生	・講義：テキストとスライドによる説明を行う。	【予習】 1. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】 1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
7	講義：看護政策と行政 (講義：隅田由加里) ・医療と経済 ・看護に関わる医療・介護制度 ・病院経営と看護管理 ・看護管理に関連する法律 ・保健医療福祉政策と最近の動向 ・看護の専門機関・職能団体	・講義：テキストとスライドによる説明を行う。	【予習】 1. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】 1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
8	演習：療養環境のマネジメントの実際 (演習：隅田由加里、基礎看護学教員)	演習：事前課題であるシミュレーション事例を用いて、患者の療養環境を安全・安楽・自立の視点でグループ討議した療養環境に関する具体的なマネジメントを発表する。	【予習】 1. グループで、事例課題である療養環境の具体的なマネジメントを、安全・安楽・自立の視点で、考える。 2. 教科書の該当箇所を読み、「自己学習ノート」を作成する。 【復習】 1. 課題プリントに取り組む。 2. 本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	【予習・復習】60分
9				
10				

11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	書籍やテレビ、雑誌、インターネットなど、さまざまなメディアによる医療や看護に関連するニュースや情報に興味を持ってください。そして現在の社会や医療・看護の情勢やニーズを理解して行ってください。また各病院のホームページを閲覧し、組織についてや、理念や方針などを比較し、各施設の特徴や重要視していることを読み取ってみてください。			
テキスト	「ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版)		「ナーシング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)	
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①(医学書院) ・系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②(医学書院) ・井部俊子 中西睦子著:看護管理学習テキスト 第1巻～第8巻、別巻)日本看護協会出版会) ・原 玲子著:学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門(日本看護協会出版会) ・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳:[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社) ・岩崎夏海著:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社) 			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この大学時代が終了したら、皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関や、地域の施設や企業に就職すると思われます。それらの機関は全て組織化され、組織の目標を達成するために、個人でもチームでも、そして組織全体においてもPDCAサイクルを回しながら、より良い医療サービスを提供するために思考し実践しています。この単元を通してマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解してください。そしてその知識や考え方を習得し、来年度からの各論実習や総合実習を
達成度評価に関するコメント	<p>筆記試験(70%)、課題レポート(15%)、演習(10%)、危険予知トレーニング課題(5%)で総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 筆記試験は授業時間内に実施予定です。 * 課題のレポートは授業時間内に看護マネジメントに関するテーマを提示しますので、A4用紙1枚程度に自身の考えを文献を活用しレポートしてください。 * 演習は「療養環境のマネジメント」をテーマにグループで課題に取り組み、その課題を看護実習室で発表していただきます。 * 危険予知トレーニングとは、医療事故防止を学ぶために活用される基礎的トレーニングツールです。イ